大手前新聞

創刊
2018年(平成30年)
佐伯市役所
大手前開発推進室
☎0972-22-4623

さいき城山桜ホール

開館1年前イベント

市は、さいき城山桜ホールの開館1年前イベントとして、5つのイベントを開催しました。

市長対談放送

10／28～11／3 ケーブルテレビ（11ch）「さいきホットタイム」

田中市長と佐伯出身のテノール歌手土崎譲氏が、文化によるまちづくりについて対談しました。

さいきっ子絵画展

10／31～11／10 市内小・中学生の絵画62点を建設現場周辺・仲町商店街に展示して、まちづくりへの関心、回遊動線の演出を行いました。

さいきアートマルシェ

11／2「三余館ホール」

ハンドメイド作品の展示販売や手芸ワークショップ、パン、カフェなどの出店、さらにゲストアーティストとして「コオロギタカシ」「北村直登」「Kana」「さつ」各氏を迎え、普段体験することのできないアートに触れ、会場は賑わいました。

OPAMキッズワークショップ

11／3「佐伯小学校体育館」

未就学児とその保護者が体と五感を使って創造性を養うワークショップを開催しました。

OPAMキッズワークショップ

さいき BIG BANG! 大道芸フェスタ

YAYA in 上堅田小学校

学校訪問

11月9日の大道芸フェスタに先立ち、市内の小学校5校でプロモーションを行いました。公演は普段観ることのできない大道芸を間近で体験し、驚きや歓喜の声が次々に上がりました。公演後のアンケートでは、パフォーマーへの応援や、喜びの声をたくさんいただきました。

CHISHA in 上堅田小学校

KANA∞ in 鶴岡小学校

来場者数約6千人

11月9日、さいき城山桜ホールの開館1年前イベントとして「さいきBIG BANG！大道芸フェスタ」を開催しました（佐伯市主催）。

全国から集結した11組の大道芸人と市民4組のパフォーマンスが、大手前から仲町までの3つの会場で披露されました。

未来の佐伯に懐かしさを見た

佐伯で一番賑やかだったまち、今では人通りが少なくなり、当時を知る人は寂しい気持ちになるのでしょうか。しかし、はいつもと違い大道芸フェスタの開催により、大手前商店街から仲町商店街を約6千人の人が埋め尽くしました。目当てのパフォーマーや、味力ブースを目指して、大手前と仲町を行き来する姿を見て、懐かしい昭和の時代を思い出しました。

来年10月31日には、さいき城山桜ホールがオープンします。まちのスタイルは当時と違うかもしれませんが、未来の佐伯に明るい希望の光が見えてきました。

佐伯の味力全開

大道芸のパフォーマンスに合わせ、大手前野外劇場とまちかど広場では、大道芸の技に加え、市内18店舗が出店し、佐伯の食もこのまちに回遊性をもたらしました。

開館まであと1年

山桜ホールの開館1年前イベントとして行われた「さいきアートマルシェ」「大道芸フェスタ」にご参加いただき、ありがとうございました。

市協力をお願いします。

佐伯がいちばん！

さいき城山桜ホール初代館長
加藤 康彦

現在は、大手前開発推進室参事として開館準備に携わる。

[illegible]